

各 位

(公社)愛媛県紙パルプ工業会

紙産業中核人材育成講座平成30年度(最新紙加工技術コース)のご案内

早春の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当工業会では、標記中核人材育成講座を実施して13年が経過いたしました。その間、平成17・18年度の実証講義では延べ55名の修了者、自立運営後の平成19～28年度では147名が修了いたしました。この講座は、紙製品のコスト競争等、紙産業を取り巻く環境が著しく変化する中で、紙産業界の技術力を向上させ、生産現場ですぐ対応できる中核的な技術者・リーダーの育成を目的としております。

この講座の概要は、最新製紙技術コース・最新紙加工技術コースの2コース全25科目を学び、製紙技術、紙加工技術、機械設備・システム技術を広く修得し、紙産業企業における中核的人材の育成をめざしています。講義は実習講義を含む少人数のゼミ形式で、各分野の第一線の講師により重要基本事項から最新の技術・情報までを修得し、実践に即対応でき紙産業の将来を担える技術者を養成する内容となっています。

業務ご多忙の折とは存じますが、標記講座を下記のとおり開講いたしますので、多数の方々を受講していただきますようご案内申し上げます。

記

1. 講 師 大学教授、公設試験研究機関OB、各専門企業技術者の精鋭講師で実施します。
(別紙：講義科目概要及び講師紹介を参照下さい)
2. 期 間 平成30年度最新紙加工技術コース：平成30年6月～平成31年2月
3. 日 程 <講義>金、土曜日 <実習講義>木、金、土曜日
(別紙：講義スケジュール表のとおり)
4. 受講定員 約20名(応募者多数の場合は事務局で調整させていただきます)
5. 受講対象 実務経験3年以上、又は同程度の能力を有する方
6. 実施場所 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター (四国中央市妻鳥町)
高知県立紙産業技術センター (吾川郡いの町)
ダイオーエンジニアリング株式会社 (四国中央市村松町)
7. 受講料 ￥200,000 (12科目、延159時間)
(愛媛県紙パルプ工業会会員企業は、受講料¥30,000を減額いたします)
8. 申込方法 別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送・ファクス・E-mailにて下記までお申込み下さい。
受講申込書は当工業会ホームページからダウンロードできます。
(公社)愛媛県紙パルプ工業会 〒799-0101 四国中央市川之江町4084番1
Tel:0896-58-2055 Fax:0896-58-6240 E-mail: info@e-kami.or.jp
URL: http://www.e-kami.or.jp/
9. 申込締切 平成30年5月18日(金)必着
10. その他 受講生派遣元企業が「人材開発支援助成金」を申請することにより、受講料の補助や支払った賃金の助成が受けられる可能性があります。詳しくは都道府県労働局までお問い合わせ下さい。
受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

講義科目概要

講義科目	時間	講師氏名	講義内容
塗工技術特論	12	宮崎 範康 福本 賢一	塗工技術と乾燥技術の基礎、塗工・乾燥方式の種類と選択方法やライン駆動制御技術など塗工技術と生産管理・品質管理等生産現場に必要な技術について学習する。また、押し出しラミネートやエンボス加工等、身近な紙加工技術についても、広く学習する。
不織布技術特論	12	矢井田 修 林 幸男 奥村 和久	最新の不織布用原材料、サーマルボンド不織布製造法、スパンレース不織布製造法、スパンボンド不織布製造法、メルトブロー不織布製造法、エアレイド不織布製造法、複合化不織布製造法等や不織布用語、関連メーカー、試作品作成や品質評価の方法を実習する。
不織布製造試験実習	18	高岡 亮	不織布製造に使用される、各種不織布関連原料の種類・用途等を学習し、小型カード機や不織布製造設備、各種試験機器を使用し、試作品作成や品質評価の方法を実習する。
特許管理特論	6	村上 綾子	技術者がすぐ応用できる、特許検索の手法、特許出願の方法等について学習する。研究・開発担当者が職場で実際に直面する問題についての解決手法等、実務的な内容も学習する。
紙加工機械特論	12	杉田 裕紀 一色 裕樹 加地晋一郎	紙加工技術の基本概念として“巻く、折る、切る、砕く、包む”をテーマに各紙加工設備を取り上げ、各設備の目的、能力等、最新の技術を学習する。また、段ボール包装設計等について、一般知識、製造方法、包装機械、最新の技術を学習する。
コンバーティング技術特論	3	福本 賢一	最新のコンバーティング技術並びに技法等の用途、目的、更には問題点やその対策について学習する。内容としては包装紙、容器、剥離紙・工程紙(工業用、ラベル、反射板、セラミック、炭素繊維、合成皮革等)に関連したもので、生産時の問題点とその原因対策等、実践に役立つことを、対話方式を交えて学習する。
紙加工用薬品特論	6	相野谷 卓 渡邊 聖 古澤 浩基	塗工用水性顔料の品質特性と応用例、紙加工用樹脂(水系ディスパージョン、ラテックスなど)の製造法と特徴・各種樹脂の特性と応用、インクジェットメディアと使用薬品及びコーティング方式、剥離紙用シリコンの品質特性等、各種機能性薬品について学習する。
機能材料塗工試験実習	18	田村 元男 宮崎 範康	機能材料塗工実習ではハンドコート手法から物造りの基本を学習し、剥離紙・粘着シートの試作品製造を通じ、塗工液の調整法やテストコーターの使用法と品質評価法を実習する。
紙加工技術・開発手法実習	30	田村 元男 古澤 浩基 武山 泰士	製造現場で起こりうるテーマを再現して、受講生が自らの判断で問題解決する方法を修得する。企業における新製品の製造企画、塗工処方の確立から製造工程までの手法を学習する。(インクジェット用紙開発をテーマに処方の検討、試作品作成、報告書提出までを学習)
シーケンサ・タッチパネル 技術実習	12	安藤 巧	製紙機械に幅広く使用されているシーケンサ・タッチパネルを中心に、リレーシーケンス・基礎プログラミング・応用実習などを実習機を用いて実習する。また現場での対応力を向上させるため、生産保全・メンテナンスについても実機を用い簡易的にトラブルを発生させ、その対処方法を実習する。
自主保全実習	18	中島 実	設備異常を早期に発見して、壊れる前に対応する保全のやり方を習得する。「清掃(点検)・給油給脂・増締め」を中心に、各種カッターを使用した構造や原理に関する座学と保全実習を行うと共に、安全体感訓練(10種)を含めて行うことで、事故・災害防止に繋げる。
駆動制御機器 技術実習	12	山口 明弘	製紙機械に幅広く使用されているインバータ・AC サーボを中心に、制御方式・機能性能・容量選定方法を学習する。また実習機を使用し、試運転時の調整方法も実習する。また現場での対応力を向上させるため、生産保全・メンテナンスについても実機を用い簡易的にトラブルを発生させ、その対処方法を実習する。

(敬称略)

平成30年度 最新紙加工技術コース (講義科目：12科目、 総時間数：159時間)

【講師紹介】

宮崎 範康 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター・嘱託研究員 (元リンテック(株)洋紙・加工紙製造部長)	一色 裕樹 川之江造機(株)設計部・課長 加地晋一郎 川之江造機(株)設計部・係長	
福本 賢一 元リンテック(株)小松島工場・工場長	相野谷 卓 荒川化学工業(株)研究開発本部製紙薬品事業・主査	
矢井田 修 日本不織布協会技術委員会・委員長	渡邊 聖 荒川化学工業(株)研究開発本部コーティング事業・主査	
林 幸男 元高知県立紙産業技術センター・所長	古澤 浩基 明成化学工業(株)紙薬剤開発部情報産業開発G	
奥村 和久 日本フィルコングループ 関西金網(株)大阪支店営業3課・課長	田村 元男 元リンテック(株)洋紙・加工紙製造部長	
高岡 亮 シンワ(株)商品開発室	武山 泰士 日本電色工業(株)大阪営業部営業1課・係長	
村上 綾子 (一社)愛媛県発明協会・窓口支援担当	安藤 巧 三菱電機(株)四国支社・主席技師	
杉田 裕紀 レンゴー(株)包装技術部大阪包装技術第1課	中島 実 ダイオーエンジニアリング(株)保全推進部・課長	
	山口 明弘 三菱電機(株)四国支社・主席技師	

(順不同・敬称略)

【協力機関】

愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター 高知県立紙産業技術センター

【支援企業】

相 川 鉄 工 (株)	荒 川 化 学 工 業 (株)	泉 製 紙 (株)
カ ミ 商 事 (株)	川 之 江 造 機 (株)	株 島 津 製 作 所
シ ン ワ (株)	星 光 P M C (株)	大 王 製 紙 (株)
ダイワボウプログレス(株)	富 田 製 薬 (株)	日 本 フ ィ ル コ ン (株)
日 本 フ ェ ル ト (株)	日 本 電 子 (株)	日 本 電 色 工 業 (株)
丸 住 製 紙 (株)	三 菱 電 機 (株)	明 成 化 学 工 業 (株)
リ ン テ ッ ク (株)	レ ン ゴ ー (株)	(順不同)

紙産業中核人材育成講座 受講申込書

平成 年 月 日

公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会 会長 様

標記講座（H30 年度最新紙加工技術コース）の受講について、下記のとおり申し込みます。

企業名			
所在地		〒	
		TEL _____	FAX _____
担当者名		部署 _____	氏名 _____
受講者	所属	部署 _____	役職 _____
		TEL _____	FAX _____
		E-mail _____	
	ふりがな		
	氏名	男 ・ 女	
	生年月日	昭和 年 月 日生（年齢 ）	
連絡先	住所（会社：自宅）〒		
	TEL	（ ）	携帯 — —
職務経歴 （職務概要、職務歴 と経験年数など）	経験年数 年		

（注）受講者の人身事故及び過失による機器の破損等の賠償については、派遣元企業等において対処願います。

★申込先：下記まで郵送・FAX・E-mailにてお申し込みください。

〒799-0101 四国中央市川之江町 4084 番 1

(公社)愛媛県紙パルプ工業会

TEL:0896-58-2055 FAX:0896-58-6240

E-mail: info@e-kami.or.jp